

# 全社一丸の健康経営を推進

## 目指す姿を新策定、健康レポートを公開



「従業員の声を反映しながら、健康経営活動を習慣づける」と話す馬場氏

プラント建設などの総合エンジニアリング会社の千代田エクスワンエンジニアリング（本社横浜市）は、全社一丸の健康経営を推進している。今年4月に目指す姿「全ての年代の従業員が健康で、その先の未来も笑顔であり続けること」を策定。実現に向け、メンタルヘルス対策、病気の重症化予防、生活習慣病予防・健康増進、安全で安心な職場環境、ワークライフバランスの推進の五つの重点施策に取り組む。2024年度の活動内容や、従業員の健康状態と健康経営に関する指標をまとめた「2025年健康レポート」も公開した。健康経営推進責任者の馬場朗取締役専務執行役員に活動状況を聞いた。

「健康経営を推進する。仕事にやりがいや楽しさをつか仕事動機を辞めても健康であり続けてほしい」といって働いて、心身共に健康で、きたいと思ってもらえ、いう思いがある。当社は23年

### 五つの重点施策に取り組む

4月に千代田化工建設のグループ3社が統合して設立したが、合併当初、従業員のエンゲージメントは低く、離職につながっている傾向があった。エンジニアリング専門の当社は従業員こそが財産。従業員一人一人にパフォーマンスを発揮してもらうための基盤となるのが健康であり、シニアをはじめとする報酬など処遇改善とワンセットで推し進めている。

「23年7月に健康経営宣言を行い、健康経営推進チームを主体に取り組みを進め、24年2月に保健師を雇用するなど体制を強化した。今春、より従業員が経

営層と同じ目線で何を目標としているのかを理解、共有してもらえよう健康経営の『目指す姿』『根底にある思い』を新たに示した。具体的な活動内容は、

「従業員の健康診断の結果やアンケートなどを基に多種多様な活動を計画、実行している。社内の喫煙率や肥満度が高いことから、24年度は生活習慣の改善として卒煙対策や、ウォーキング、ストレッチヨガイベントによる運動習慣の定着、食堂での健康メニュー提供など食生活の改善、適

持つため、私自身、活動の積極的な声掛けを行い、毎回参加している。徐々に健康に関心を持つ人が増え、さまざまなイベントに参加してくれるようになったと感じている。参加者のアンケートでは、7割の人が知識が増え、意識が変わったと答えている。参加者の悩みや関心事、厳しい意見などもしっかり反映し、より楽しく、参加しやすい効果的な活動へと改善を続けている。昨年、今年と2年連続で健康経営優良法人にも認定された。

「新しい活動も増やして、40代から肥満率が上がることから若手向け食育セミナーを実施した。睡眠セミナーも行い、いずれも多くの関心を集めた。女性がん検診を34歳以下でも追加できるようにした。介護や病気療養などでの在宅リハビリ勤務も新設した。介護しながらでも安心して働ける環境を整備するとともに、従業員同士が経験や悩みなどを共有できる社内介護カフェも開いた。

「10月に地元で開催された横浜マラソンに従業員10人が出場し、おそろいのTシャツを着て応援した。来年は私も含め100人での出場を目指したい。こうして、社外にも知ってもらえればと思う。生活習慣病リスク者割合など従業員の健康状態や、社員エンゲージメントなど健康経営に関する指標の実績も包み隠さず開示しており、毎年健康レポートを発行することで課題を把握し、目標に向けた施策を継続的に改善していきたい。従業員それぞれの改善意欲にもつながる。採用面でも求職者の多くが健康レポートを見ていただけており、訴求効果が高いと考えている。」

正飲酒や健康関連のセミナーなどに取り組んだ。「メンタルヘルス対策では保健師による全員面談を始め、ストレスチェックの総合健康リスクの高い職場から優先的に実施している。また、40歳から5年ごとに行う節目健康診断の対象年齢に65歳を加えた。長時間労働対策やハラスメントゼロ運動なども展開した。健診結果や各活動への参加に対して健康ポイントを付与し、上位者を表彰するウェルネス活動賞も設けた。

「社内への浸透や効果は、従業員みんなに興味を

「10月に地元で開催された横浜マラソンに従業員10人が出場し、おそろいのT

「本気で従業員の健康を

